３年総合「字が読めないってどんなこと？」の補足資料

★識字率とは

・基本的に、大人（15才以上）の**識字率**（％）。

・ある国または一定の地域で、文字の[読み書き](https://kotobank.jp/word/%E8%AA%AD%E3%81%BF%E6%9B%B8%E3%81%8D-654950)ができる人の[割合](https://kotobank.jp/word/%E5%89%B2%E5%90%88-665736)。
[補説]

・[ユネスコ](https://kotobank.jp/word/UNESCO-181722#E3.83.87.E3.82.B8.E3.82.BF.E3.83.AB.E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.B3.89)では、「15歳以上の[人口](https://kotobank.jp/word/%E4%BA%BA%E5%8F%A3-81657)に対する、日常生活の簡単な内容についての読み書きができる

人口の割合」と定義している。

・一般的に「識字」は、単純な算術計算を行う能力である「初歩の計算能力」も含み、日常生活上の

短い簡単な文を理解して読み書きすることができる、15歳以上の人口の割合。

★世界の識字率（Global Literacy Rates　2013年）

★ネパールの識字率について

過去の識字率を見ると 1951年　5.3％　1995/96年　37.8％　（この２つのデータは10 歳以上を対象）

2015年には65.9％まで上昇し、徐々にネパールの識字率は上がってきていますが、先進国と言われる国の識字率が98％を超えているという現実と比べると、まだまだ識字率は低いと言わざるを得ません。15歳以上の大人のうち、約65％しか字が読めないということは、３分の１の人は字が読めないということです。

出典 ： 国際協力銀行 「貧困プロファイル 要約 ネパール王国」 2003年3月

外務省 「ネパール連邦民主共和国 基礎データ」 平成31年3月28日

★識字率　日本の一例

|  |
| --- |
| **明治期の各県の調査初年次の自署率　（文部省年報による）**  |
| **府県** | **調査初年次** | **調査対象** | **男子** | **女子** | **全体**  |
| 滋賀県 | [1877年](https://ja.wikipedia.org/wiki/1877%E5%B9%B4) | 満6歳以上 | 89.23 | 39.31 | 64.13  |
| 群馬県 | [1880年](https://ja.wikipedia.org/wiki/1880%E5%B9%B4) | 79.13 | 23.41 | 52.00  |
| 青森県 | [1881年](https://ja.wikipedia.org/wiki/1881%E5%B9%B4) | 全住民 | 37.39 | 2.71 | 19.94  |
| 鹿児島県 | [1884年](https://ja.wikipedia.org/wiki/1884%E5%B9%B4) | 満6歳以上 | 33.43 | 4.00 | 18.33  |
| 岡山県 | 1887年 | 65.64 | 42.05 | 54.38  |

出典 ： Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AD%98%E5%AD%97#cite_note-36>